

## 長野県市長会 6 月定例会

平成 29 年 6 月 6 日（火）午後 3 時 30 分

都市センターホテル 6 階 606

### 1 開 会

（百瀬事務局次長）

皆様、お疲れ様でございます。定刻 3 時半となりました。佐久市長さんが所用によりまして遅れて来ますけれども、定刻になりましたので会議の方を始めさせていただきます。

ただ今から長野県市長会 6 月定例会を開会いたします。初めに、小口会長からご挨拶をお願いいたします。

### 2 挨拶

（小口会長）

どうも、改めまして、皆様こんにちは。4 月 21 日から会長を務めておりますが、実質、今日がデビューでございますので、ぜひお手柔らかなによりしくお願いいたします。

今日は、6 月定例会、それぞれお忙しい中を全員の市長ご本人がおいでいただきまして大変ありがとうございます。今日は、また懇親会もありますので一日よろしく願い申し上げます。

4 月の市長会総会以降、あとで報告のある市川局長の話と多少ダブるかもしれませんが概要をご報告申し上げます。5 月 31 日、第 13 回「県と市町村との協議の場」が行われました。県からはいつもどおり阿部知事、両副知事をはじめ、関係部長に参加いただき、市長会からは正副会長と理事の参加によって、町村会も含めて、今回は「県と市町村との連携による産業誘致及び投資の促進について」をテーマに議論を行ったところでございます。特に、観光等をキーワードとした地方創生の一つとして雇用の場をというような切り口が目新しいと。目新しくもないでしょうか。幅広いキーワードから雇用を県として作っていかうという意向でございましたので、さらに今後、議会とも連携しながら、この信州で地域活性化が図られますことを心から期待する次第でございます。また、5 月 22 日には、都道府県会館におきまして「長野県関係国会議員との懇談会」が開催されました。市長会からは私が出席いたしまして、阿部知事が六団体の代表として関係議員に提言申し上げ、懇談を行った次第でございます。当然、議員の皆さんは地域性がかなり強くて、すでにほとんど承知のことでありましたので、そのような面からより良い懇談会ができたのではないかと考えております。またその前段、「平成 30 年度国の施策並びに予算に対する提案・要望」を関係省庁に対して行いました。国土交通省においては、大野国土交通大臣・政務官に対しまして、阿部知事から開口一番、このたびの飯山市での井出川流域の災害に対するお礼と引き続きの支援を要請した次第でございます。市長会としても、できることをとも

にやっていく立場でございますので、またぜひ頑張っていたきたいと思う次第でございます。

なお、本日は、定例会終了後、環境事務次官、小林正明さんをお招きして「自然資源を活かした観光による地域振興について」と題してご講演をいただく予定としています。よろしく申し上げます。小林さんは市川局長の2年後輩で、そのような縁からですね。政務官や副大臣はたくさんいるけれども、おそらく事務次官は一人でしょうから大したものだと思っておりますので、また期待したいと思います。以上でございます。よろしく申し上げます。

(百瀬事務局次長)

ありがとうございました。

本日の定例会は、会議録をホームページ上で公開する会議としております。事務局において作成した会議録を出席者等にご確認いただいた後、ホームページに掲載させていただきますのでご承知おき願います。

それでは会議に入ります。慣例によりまして、小口会長に座長をお願いいたします。では、前の方へお願いいたします。

### 3 会 議

(小口会長)

それでは、早速、会議に入りたいと思います。

まず初めに、(1) 会務報告について議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。

#### (1) 会務報告

(市川事務局長)

皆様、お疲れ様です。着座にてご報告申し上げます。

お手元の資料1をお願いいたします。29年度の年度当初から5月末までの2か月分の会務報告となります。時間の関係もありますので、主なものにつきましてご報告をさせていただきます。

まず1ページのI会議の1総会ですが、4月20日、第140回総会を自治会館で開催をしまして、各市提出議題は、「長野県福祉医療費給付事業補助金の補助対象範囲の拡大について」以下7件、副市長・総務担当部長会議送付議題につきましては、「緊急防災・減災事業債の拡充について」以下2ページまでの27件、合計で34件の審議を行いまして、すべて原案どおり採択となり、処理経過等の欄に記載のとおり処理をさせていただいております。資料の3ページでございますが、事務局提出議題としまして、市長会役員の改選等のほか、市長会から選出する各種団体等の役職につきまして、全国市長会関係から県の審議会等、

資料の5ページの上段までありますが、選出をいただいたところでございます。また、県からの施策説明は、各市から要望のありました事項を中心に記載の12項目について説明を受けたところでございます。

次に、6ページの「2役員会」ですが、4月20日の第140回市長会総会に先立ちまして開催し、総会の運営等につきましてご協議をいただきました。

その下、「3北信越市長会関係」では、第170回総会が5月11日・12日の両日、新潟県糸魚川市で開催され、本会からの提出議題はすべて原案のとおり採択され、全国市長会へ提出されております。なお、記載の4件の決議につきましても、すべて原案どおり採択されて全国市長会へ提出されております。次期第171回の総会につきましては、10月12日・13日の日程で石川県輪島市で開催されることとなっております。

次に、7ページ、「4全国市長会関係」でありますが、4月12日に開催されました理事会には、本会から母袋上田市長さん及び牧野飯田市長さんが出席されております。

5の「県と市町村との協議の場」につきましては、後ほど報告事項で別途報告させていただきます。また、8ページの8、ただ今会長からのご挨拶にもございましたが、「長野県関係国会議員との懇談会」につきましても、後ほど別途報告事項でご報告をさせていただきます。

9ページをお願いいたします。下段の「II要請・要望活動」の「1要請・要望を行ったもの」でありますが、11ページの上段までになりますけれども、第140回総会におきまして採択されました県の施策21件、国の施策17件につきまして5月31日、正副会長から知事、県議会、自民党県連及び民進党県連に対しましてそれぞれ要望、あるいは陳情を行ったところでございます。

次に、11ページをお願いいたします。一番下の「(3)その他」ですが、5月30日に行われました長野県消防防災航空隊殉職者合同追悼式には、小口会長さんをはじめ多くの市長さん方にご出席をいただいたところでございます。

最後に12ページですが、「関係団体の役員等の選出又は委嘱」につきましては、4月の総会の際に選出をいただいた市長さん方に関係するものと職員の選出に係るものが14ページまでございます。会務報告は以上でございます。

(小口会長)

ただ今報告のありました会務報告について質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。よろしいようですね。それでは、会務報告について承認するというところでよろしいでしょうか。

○ 「なし。」との声あり

(小口会長)

ありがとうございます。それでは、異議がないようでございますので、会務報告について、今、報告のとおり承認することといたします。

続きまして、(2) 協議事項に移ります。市長会から選出する各種団体等の役職についてでございます。事務局から説明をしてください。

## (2) 協議事項

(市川事務局長)

それでは、資料2をお願いいたします。今回は、長野県の審議会委員等22の役職につきまして推薦を依頼をされてございます。

まず、1の長野県総合計画審議会委員をはじめ記載の四つの役職につきましては、これまでの選出経過等によりまして小口会長さんに就任をお願いをいたします。

次に、2の長野県地方税滞納整理機構議会議員でございますが、これまで副会長が就任しておりましたので、柳田副会長さんをお願いをしたいと思います。

次に、部会の所管分野との関連から各部会から選出をお願いをするものでございますが。最初に、総務文教部会では、長野県スポーツ推進審議会委員を加藤長野市長さんをお願いをしたいと思います。次に、社会環境部会関係では、長野県県・市町村国保運営連携会議委員につきましては、引き続き社会環境部会長にご就任いただいております牛越大町市長さん以外の社会環境部会の4人の市長さん全員のご就任をお願いをするものでございます。また、長野県国民健康保険審査会委員及び長野県介護保険審査会委員は今井岡谷市長さん、長野県がん対策推進協議会委員は池田中野市長さん、長野県災害緊急医療体制検討協議会委員は杉本駒ヶ根市長さんをお願いをしたいと思います。

次に、2ページでございます。経済部会所管では、長野県食と農業農村振興審議会委員及び長野県農業信用基金協会理事を部会長の花岡東御市長さん、長野県森林審議会委員、一般社団法人長野県原種センター理事及び一般財団法人長野県林業労働財団理事を岡田千曲市長さん、公益財団法人長野県農業開発公社評議員、長野県農地中間管理機構事業評価委員会委員及びみんなで支える森林づくり県民会議委員を柳平茅野市長さんをお願いしたいと思います。

次に、危機管理建設部会関係ですが、長野県景観審議会委員を白鳥伊那市長さん、長野県住宅供給公社理事を部会長の足立飯山市長さん、公益財団法人長野県建設技術センター評議員を宮澤安曇野市長さんをお願いしたいと思います。

最後に、関係市長が就任するものとしまして、長野県公営企業経営審議会委員でございますが、長野県企業局の事業エリアや重要事業施設のある市長さんをお願いするものでございまして、母袋上田市長さんと白鳥伊那市長さんに引き続きお願いをしたいと思います。なお、それぞれの団体からの推薦依頼文の写し等につきましては資料3ページから24ページまでございますので、ご確認をいただければと思います。説明は以上です。

(小口会長)

ありがとうございました。今、説明のありましたそれぞれの依頼に基づく市長会の役割分担でございますが、こちらについて質疑等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、今、市長会から選出の各種団体等の役職につきまして、事務局長の説明のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

○ 「異議なし。」の声あり

(小口会長)

ありがとうございます。では、原案のとおり議決することといたします。それぞれの市長様方におかれましては大変でしょうが、ぜひよろしくお願い申し上げます。

次に、(3) 報告事項に移ります。アからカまで6テーマございますが、一括して事務局から説明を受けるということでよろしいでしょうか。お願いします。

### **(3) 報告事項**

(市川事務局長)

それでは、6件ございますが、一括ご報告をさせていただきます。

最初に、「長野県関係国会議員との懇談会」でございますが、資料3をお願いいたします。去る5月22日に長野県関係国会議員と県内地方六団体の長との懇談会が都道府県会館で行われました。六団体一緒の懇談会は平成25年度から始まったところでございますが、本会からは小口会長さんにご出席をいただいたところでございます。

懇談の概要でございますが、資料を1枚おめくりいただいたうしろに別添として「平成30年度国の施策並びに予算に対する提案・要望」というものがございます。これに基づきます長野県の重点課題につきまして、県からの説明と、それに対する意見交換が行われました。なお、この懇談会に先立ちまして、今の別添資料をさらに1枚おめくりいただきますと要望項目がございますが、そちらをご覧いただきたいのですけれども。この提案・要望事項15項目ございますが、このうち項目1は総務省に、項目4と5は農林水産省に、項目6は総務省・農林水産省及び国土交通省に、項目7・10及び次のページになりますが11につきましては総務省及び国土交通省に、項目8と9につきましては国土交通省に、項目12につきましては農林水産省及び国土交通省にそれぞれ六団体合同で要請を行いましたほか、他の項目につきましては県の職員から関係省庁に要請を行ってございます。

次に、資料4をお願いいたします。第13回となります「県と市町村との協議の場」につきましてご報告をいたします。こちら去る5月31日となりますが、県庁におきまして第13回となります協議の場が開催されてございます。本会からは、理事の牛越大町市長さんと花岡東御市長さんが市議会等の関係でご欠席されましたけれども、正副会長と二人の理事のご出席をいただきまして、県側からは阿部知事、太田・中島両副知事、関係部長等が

出席して資料1ページの次第に記載のとおり、まず「県と市町村が連携した子育て支援の取組に係る検討状況」と「県・市町村事務連携作業チームにおける検討状況」についての中間報告がございました。県と市町村が連携した子育て支援の取組に係る検討状況では、資料の3ページになりますが、これまで3回の検討会議が開催されまして、現行の支援戦略につきましては概ね順調に進捗しているとの評価のうえで、子育てに伴う経済的負担の軽減、子育てと仕事の両立支援、そして子育ての孤立化の防止の三つの柱で課題・取組の動きを整理し、今後の検討方向としまして新たな取組・動きを普及・拡大するとともに、取組をさらに充実させるための具体的な施策の検討を進めることとなりました。

4ページにまいりまして、検討を進めるに当たっての視点例が整理されてございます。先ほど申し上げました三つの柱ごとに、資料の下の方にありますが、例えば、子育てに伴う経済的負担の軽減の取組では、就学援助や奨学金等を通じた総体としての教育費の負担軽減を検討するなどとしてございます。この報告に際しまして、阿部知事からは県と市町村との役割分担を意識して検討するようにと、特に発言があったところでございます。また、5ページのこども未来応援基金、仮称でございますが、こちらの検討状況につきましては、3に記載のとおり、基金の必要性、基金により支援すべき事業及び基金の財源の3点を論点に引き続き検討を進めることとなりました。

9ページをお願いします。県・市町村事務連携作業チームにおける検討状況では、テーマごとに部会を設置しまして、作業チームが2回、部会が各1回開催されてございます。介護保険関係では、市町村における実施体制の充実が必要との認識のもと、現状の市町村支援策の拡充、新たな市町村支援等について検討が進められていますほか、旅券関係では、少なくとも圏域単位での移譲でないといふ県・市町村トータルでのコストは増加するという課題に対しまして、圏域単位での移譲・集約を一体的に検討することとしてございます。そして、今回は、「県と市町村との連携による産業誘致及び投資の促進について」をテーマに県側と活発な意見交換がなされたところでございます。当日の資料につきましては11ページ以降に添付させていただきましたが、この場の確認事項としまして最後の27ページをお開きいただきたいと思っております。1の報告事項は、ただ今申し上げたとおりでございますが、2のところでございます。今回のテーマにつきましては、地域振興局を中心に県と市町村における規制改革や税優遇など、効果的な誘致・投資方策の共有・実行、また、先月下旬成立しました地域未来投資促進法における基本計画の策定により県内への産業誘致や事業投資の促進を図ることとなりました。以上が県と市町村との協議の場でございます。

続いて、3番目になりますが、141回の長野県市長会総会の開催市でございますが、こちらは、本日の定例会の次第の方に記載してございますとおり、8月25日金曜日、長野市で開催することとなっております。あらかじめご予定をお願いいたします。また、長野市さんにはお世話になりますが、よろしくをお願いいたします。

次に、資料5をお願いいたします。本年3月5日の長野県消防防災ヘリコプター「アルプス」の事故によりまして長野県の消防防災航空体制の機能が失われたことから、今後の

あり方について検討を行います消防防災航空体制のあり方検討会を県が設置するに当たりまして、本会に対して2名の市長さんの委員としての参画を求められたところでございます。本来であれば、先ほどと同様にこの場でご協議いただくところでしたが、長野県側の要請が5月25日までの選出ということでありまして、急を要しましたことから、正副会長さんともご相談のうえ、また、就任いただく危機管理建設部会長の足立飯山市長さん及び白鳥伊那市長さんのご了解をいただきまして5月24日に選出いたしましたので、ご報告させていただきます。2ページは、県からの依頼文、以下、県の検討会設置のプレスリリースと最後に名簿を添付させていただきました。

次に、資料6をお願いいたします。長野県森林づくり県民税に関するアンケートの件でございますが、4月20日の総会の際に、飯田市さん提出の「長野県森林づくり県民税の継続について」の議題審議の際に、金子諏訪市長さんから、市長会として森林税についてのアンケート調査を実施してほしい旨のご提案がございまして、総会の場では実施することとなったところでございますが、事務局においてその後、長野県の林務部と調整している中において、長野県が全市町村等を対象に5年前のお手元の資料を基本としたアンケート調査を実施することとなりました。このように状況の変化がございましたので、正副会長さんともご相談をさせていただきます。市長会としましては重複を避ける意味合いもあり、独自のアンケート調査は実施しないこととしましたのでご了承をお願いいたします。なお、長野県が実施しますアンケート調査につきましては、近日中に行う予定と聞いてございます。

最後に、第173回北信越市長会総会県内開催市についてご報告を申し上げます。特段の資料はございません。先の総会でもお話いたしました。4月21日付けで全市に対しまして開催希望の有無を照会させていただきましたけれども、希望ありと回答していただいた市はございませんでした。この結果、本年2月定例会の申し合わせ事項に基づきまして、東北信ブロックでの開催となるため、東北信9市と調整をさせていただくこととなりまして、先週2日に第1回調整会議を開催いたしました。この会議においてはまだ内定という段階には至っておりませんが、隣接市、あるいは近隣市とによる共同開催など、あらゆる可能性を検討しまして、今後の調整の中において8月の総会までには候補市を絞り込んでまいりたいと考えておりますので、特に9市の市長さん方におかれましては前向きに検討いただけるようご理解、ご協力をお願いしたいと思います。報告は以上です。

(小口会長)

今、すべての項目一括説明をしていただきました。ぜひ、北信越市長会、自分のところでやらないことを人にいってはいけません。早く立候補していただいて決めていただきますように申し添えます。全体を通じて質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

(宮澤安曇野市長)

いいですか。

資料の4で、第13回「県と市町村との協議の場」における確認事項の今回のテーマということで、県内への産業誘致・事業投資の促進を図るということですが、先ほども第4分科会で須坂市長さんと一緒に農水省の方へお願いをさせていただきましたが、とにかく産業誘致をするにも、誘致をする場所がなければ誘致ができないという実情が私どもの市でもございます。従って、強く農水省の方へ農地転用のあり方についてもう少し規制緩和をしていただいて、県なり基礎自治体に権限を移譲していただくよう強力な運動をぜひ進めてほしいということであります。特に、国・県の資金といいますか、導入された制度等については、例えば、ほ場整備なり、広域排水なり、水利施設の更新なり、こういった場合にほとんどが受益地になってしまうということで、8年要件が満たさなければ開発できないという大変厳しいものがあります。私どもの市としても企業誘致をするにも農地転用をなかなかできないという実情がありますので、今後の運動の強化をぜひお願いをしたいと思います。

それからもう一つは、長野県の森林づくり県民税であります。私は、継続をしていただくことには賛成の立場であります。ただ、これは単年度で使い切るべきものだと理解をいたしておりますが、数億円の年度繰り越しがあるというような報道がなされております。ぜひ、里山整備等も含めて、繰越金がないような形で、年度内に各基礎自治体の要望に応えた運用をしていただくようお願いしたいと思います。以上2点です。

(小口会長)

今おっしゃられた森林税については、多分、県がといいますか、阿部知事が決断すれば、すぐできるわけですから、これは強く私たちの立場からも、おそらく19市中すべての総意だと思いますので申し上げていきたい。500円を1,000円に上げて多分だめという県民はおそらく私の感覚では1割もいないと思いますので、これは、ぜひ、また一緒に声を大きくしていきたいと思います。その前段の、先ほどの農水省の課長の話からも煮え切らないといいますか、大きな面的な土地は決して転用させないという意思が非常に強く表れていた答弁だったので苦慮しておりますが、どんなものでしょうか。三木さんと宮澤さんが珍しく長野県で二人も発言しましたが。

(牧野飯田市長)

全国市長会経済委員長の私の立場としていいです。前の市長会の際にも申し上げたのですけれども、せっきやく指定市町村までは権限移譲を認めると、岩盤規制に穴が開いているので、そこをまず目指して。そして、今お話があったような課題を自分たちのところでできるようにきちんと運用していくのだから、農水省の方もこういったことをきちんとやってほしいということをお願いすることが基本だと思います。今のところ、県下では、私どもの飯田市と隣の高森町さんだけが指定市町村になっていますが、須坂市長さん

にも申し上げているのですけれども、まず指定市町村をとってもらえないかと。話はそれからだというわけではないのですけれども、ぜひお願いしたいと思います。

(小口会長)

先ほどの話だと、国会議員がとにかくうるさいという話。うるさいというのはいい方が悪いけれども。

(牧野飯田市長)

それは、もう農地転用の指定市町村への移譲のときも大変だったので。国会議員の先生方に怒られまくったのですけれども。

(小口会長)

その背景を話してください。先ほど、野党がいつているのか与党がいつているのかばらばらだというようなわけのわからない話だったので。

(牧野飯田市長)

農林族がいます。農林族の皆さん方から見ると、市町村に任せると何をやらかさかわからないと。そのような考え方がすごく強いのです。

(小口会長)

だから与野党問わずという意味でしょうか。

(牧野飯田市長)

与野党問わず、農林族みんな。だから、そのような皆さん方に納得してもらうためには、きちんと市町村で農地の運用ができるのだというものを示していかないといけないというのが結論なのです。そこができないうちに「やってくれ、やってくれ」といっても、なかなかの皆さん方は首を縦に振らない。もう散々やっていますので。

(三木須坂市長)

農業新聞の書き方も違いますね。農工法の改正等についても。

(牧野飯田市長)

ということでございます。

(小口会長)

ということで、現実には、私たちは、ただ、日々、顔の見える農家から「おらは息子い

ねえでどうするだい」と、「おらはどうしようもねえ」という言葉まで聞いているものから、本当に忸怩たる思いでございますが。また牧野さんに真剣に頑張ってもらおうということでこの場は決したいと思いますが、よろしいでしょうか。ほかにご不満がないので。ぜひよろしく願いいたします。

その他にいかがでしょうか。はい、どうぞ。

(金子諏訪市長)

森林税のアンケートについてお取りまとめいただきましてありがとうございます。県の調査があるということで、重複を避けるためということですので、対応についてはいいのですけれども。県が調査をした結果を県の資料として活用される。これは、それにわれわれ個々の市町村の意見を反映されるかどうかはわかりませんが、参考になるということなのですが。この情報を市長会が共有できれば、この間申し上げました森林づくり県民会議に委員を、今度は茅野市長さんでしょうか、送り込むわけですけれども、その場で意見として反映できれば有効ではないかという感触を持ちましてこのことを提案させていただきましたので。情報が共有できれば、なおいいのではないかという希望を申し上げます。以上です。

(小口会長)

その点につきまして、前三木会長と私と市川さんと話し合った結果、多分、これだけ細かなものになるかどうかはわかりませんが、おそらくその部分の市町村に関わることを抜粋してくれば大体この意見書ができるのではないかとということで決しましたので、その中身を今度新たに市長にお伝えするというところでよろしいでしょうか。

(金子諏訪市長)

お願いいたします。

(小口会長)

これは、今いいましたように、全体の雰囲気として嫌だという人はあまり聞いたことがないので。知事も、早く決断して第3回目の活用を広げていく方向で決すると思いますので、またその都度フォローさせてもらいたいと思います。

その他よろしいでしょうか。ありがとうございます。4時15分から小林さんの講演になっておりますので、それまでの間に効率良く進めたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、今までのアからカまでについてご確認いただいたということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。

(4) その他でございますが、事務局、あるいは各市長さんからご意見がありましたら。

まず、事務局から何かありますか。よろしいですか。それぞれの市長からその他ございますか。どうぞ。

#### (4) その他

(三木須坂市長)

お配りしてございます北前船の関係なのですけれども。ぜひ行っていただければ大変ありがたいと思います。私がなぜ北前船をやっているかといいますと、ある北前船の関係者の方から、海なし県で、長野県でどなたか行ってもらうと非常に皆さんに大事にされるということでもあります。塩の道や塩尻、小諸馬子唄等、海に関係のあるところがたくさんありますので、ぜひ行ってください。それから、諏訪大社も、いろいろお聞きしますと、安曇野もそうですけれども、元々海の方から来たというようなことで、いろいろ関係があるということ。それから、実は、これは日本遺産に4月認定されまして、それが今日、日本経済新聞のコピーをお渡ししてございますけれども、ここに載せられておりますので、様々な面で観光交流をするにもメリットがあるのではないかとということでもありますので、ご紹介申し上げます。それで、来年の5月に大連で、3月にお話したところ、大連市の方でぜひ大連でもやっていただきたいといったら即座にやってくさるということ。非常に関心が高いということもありますので併せてご紹介申し上げます。以上です。

(小口会長)

今のような背景で、今日、三木市長の方から資料を配っていただいておりますので、参考にしていただければと思います。ほかによろしいでしょうか。

(菅谷松本市長)

まだ具体的な話にならないのですけれども、6月3日の土曜日、新潟市の篠田市長が、私が新潟へ行きましたらお会いしたいということでお話したのですけれども。多分、市長さん方にはご存じの方もいると思います。実は、これは大変な問題なのです。医療関係なのですけれども。新潟市民病院の研修医が自殺したということによって調査がかけられ、結局、労働基準監督署は研修医がオーバーワークだったと判定。色々状況を説明したが、結果として、労働基準監督署から新潟市長は勧告を受けました。そして、今後どうするかということです。研修医が相当時間をオーバーワークの形で判定されてる状況です。要するに、研修と労働という問題を少ししっかり定義してもらわないと。電通の方の事件以降、急激に政府が厳しくなっております。今日お見えの市長さんたちの中には、例えば長野市長さんや、あるいは飯田市長さんの場合は市立病院や市民病院がありますから。そうすると、研修医が結構多いと思うのです。その人たちの自己研修などを、今後、労働時間という形でやられると、相当厳しくなると思う、病院自身が。各市町村でも公的病院お持ちですから、ぜひ院長さんとお会いして、今後、初期研修の方々をどう扱うかということ

す。研修だったら、それは必ずしも労働ではないと思います。そういう意味で、ぜひとも、市長さんたちに、各病院の院長さんに、研修医がいるところはどのように考えるかということをお伺いいただきたい。本当は新潟市から問題点を提出したいけれども、そうすると労働基準監督署からいわれたから出したと思われたくないので、他市からぜひこの問題を取り上げてほしいといわれたものですから。よろしく願いいたします。今後、また、これはしっかりした形でやりたいと思っていますけれども。よろしく願いします。以上です。

(小口会長)

とりあえず、課題の共有ということでよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

その他よろしいでしょうか。それでは、今日の協議事項はすべて終わります。どうもありがとうございました。

(百瀬事務局次長)

小口会長、どうもありがとうございました。以上で6月定例会を閉会といたします。